



奈良県感染症情報

令和7年第20週(5月12日～5月18日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	11.33	(7.13)	↗	→	↗	→
2	A群溶連菌咽頭炎	2.13	(1.17)	↑	→	↑	↑↑
3	伝染性紅斑	1.04	(0.46)	↑↑	↑↑	↑↑	↑↑
4	咽頭結膜熱	1.00	(0.75)	↑	↘	↑↑	↓
5	新型コロナウイルス感染症	0.93	(0.73)	↘	↓	→	↘

発生状況: **大流行** **流行** やや流行 **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

※新型コロナウイルス感染症等、基準値のない疾患については発生状況の評価を行っておりません。

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

第20週の伝染性紅斑の定点当たり報告数は1.04です。過去5週間平均数と比べ、奈良県全域で急増しており注意が必要です。伝染性紅斑は両頬に赤い発疹(紅斑)が出ることから「リンゴ病」とも呼ばれ、小児に多い感染症です。小児では微熱・かぜに似た症状に始まり両頬に紅斑がみられます。主な感染経路は飛沫感染と接触感染です。基本的な感染対策をお願いします。

百日咳の患者報告数が例年に比べ多い状況が続いています。百日咳の予防には、乳幼児期の5種混合ワクチン等の接種が有効です。ワクチン接種により、百日咳にかかるリスクを80～85%程度減らすことができると報告されていますが、接種後4～12年程度で免疫が弱まります。そのため、小学校就学前の1年間と11～12歳での3種混合ワクチンの追加接種(任意接種)が推奨されています。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

感染性胃腸炎は減少した。アデノウイルス咽頭炎と水痘があった。気管支喘息が増悪する症例が散見される。発熱と咳が長引く気管支炎の患児がなお多い。

高熱と咳が強い多形滲出性紅斑の症例があり、病院紹介して精査中です。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

COVID-19が1例あった。

インフルエンザは全く見られなくなった。

感染性腸炎が続いて流行中、嘔吐は短期、発熱を伴う例が多い。

アデノ、A群溶血性連鎖球菌が僅かずつ見られた。

典型的発疹を呈する伝染性紅斑が1例あった。

呼吸器感染症の急増はない。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

感染性腸炎はやや減少傾向にあるものの、依然として散見される状況である。インフルエンザやCOVID-19の報告はなく、アデノウイルス感染症および溶連菌感染症は散発的な発生にとどまっている。

感染症対策

百日せき

にご注意ください

百日咳菌の感染によって、激しいせきと特徴とする急性の気道感染症です。

乳幼児では、激しいせきによる

無呼吸発作

チアノーゼ

唇色や顔、爪の色が紫色に見える状態

けいれん

呼吸停止

に進展することがあります。

こんな症状がみられます

カタル期 (約2週間持続)

かぜ症状で始まり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。

増悪期 (約2～3週間持続)

発作性、けいれん性の咳が出るようになります。合併症として肺炎や脳症などもあり、乳児では注意が必要です。

回復期

激しい発作は次第に減衰し、やがて回復に向かいます。回復まで、全経過で約2～3か月かかります。

予防と対策

百日せきの予防には、生後2か月から定期接種として接種可能な5種混合ワクチン(DPT-IPV-Hib)等の接種が有効です。ただし、接種後年数が経過した人等での発病も見られます。マスク着用、手洗いなどの基本的な感染対策を心がけましょう。

せきが続く場合は、医療機関の受診をご検討ください。

受診を迷った場合や夜間・休日の場合は、「こどもの救急 <https://kodomo-emergency.jp/>」のサイトを参照したり、「#8000 (こども医療電話相談)」にご相談ください。

◆定点把握感染症報告状況◆

保健所別報告数	奈良県	北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野	
インフルエンザ	41 (0.88)	10 (0.60)	9 (0.33)	9 (0.89)	9 (2.11)	4
新型コロナウイルス感染症	38 (0.93)	4 (0.40)	6 (0.67)	3 (0.33)	20 (2.22)	5 (1.25)
小児科定点数	24	6	5	6	5	2
RSウイルス感染症	4 (0.17)			1 (0.17)	3 (0.60)	
咽頭結膜熱	24 (1.00)	2 (0.33)	1 (0.20)	12 (2.00)	9 (1.80)	
A群溶連菌咽頭炎	51 (2.13)	8 (1.33)	9 (1.80)	6 (1.00)	27 (5.40)	1 (0.50)
感染性胃腸炎	272 (11.33)	40 (6.67)	68 (13.60)	49 (8.17)	111 (22.20)	4 (2.00)
水痘	6 (0.25)	2 (0.33)	2 (0.40)		2 (0.40)	
手足口病	14 (0.58)		8 (1.60)	1 (0.17)	5 (1.00)	
伝染性紅斑	25 (1.04)	6 (1.00)	7 (1.40)	5 (0.83)	5 (1.00)	2 (1.00)
突発性発しん	11 (0.46)	2 (0.33)	1 (0.20)	5 (0.83)	3 (0.60)	
ヘルパンギーナ	1 (0.04)			1 (0.17)		
流行性耳下腺炎	4 (0.17)		1 (0.20)	1 (0.17)		2 (1.00)
眼科定点数	10	3	3	2	2	0
急性出血性結膜炎						
流行性角結膜炎	5 (0.50)		2 (0.67)	1 (0.50)	2 (1.00)	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1
細菌性髄膜炎						
無菌性髄膜炎	1 (0.17)		1 (0.50)			
マイコプラズマ肺炎	5 (0.83)			1 (1.00)		4 (4.00)
クラミジア肺炎						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	2 (0.33)				2 (2.00)	

令和 7 年 第 20 週 5 月 12 日 ~ 5 月 18 日

◆全数把握感染症報告状況◆ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核2件(奈良市1、中和1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(奈良市1)
4類感染症	
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(吉野1) 侵襲性肺炎球菌感染症2件(奈良市1、郡山1) 梅毒1件(郡山1) 百日咳11件(奈良市7、中和4)

◆入院基幹定点報告状況◆

インフルエンザ	0	新型コロナウイルス感染症	8
---------	---	--------------	---

◆急性呼吸器感染症(ARI)◆

保健所別報告数	奈良県	北部		中部		南部
定点数	41	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野
急性呼吸器感染症	1878 (45.80)	323 (32.30)	373 (41.44)	507 (56.33)	576 (64.00)	99 (24.75)

年齢別													
年齢	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計
男	76	445	137	108	44	30	33	29	27	22	25	14	990
女	80	368	139	47	30	32	42	28	36	32	19	35	888

❖第20週のトピックス❖

HIV検査普及週間に向けたイベントを実施します(厚生労働省HP)
https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000206538_00023.html

上段:報告数 / 下段:定点当たり報告数 報告数÷定点数

※データは報告数集計の速報値として公開するものであり、後日奈良県感染症情報(週報)、さらには確定データとしての年報において修正される場合があります。

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男	1		2	1	2			1			2	11	3	1		3	1				28	2977
	女		1				1						2	2		1	1					8	2894
新型コロナウイルス感染症	男	2		1									1	1	1	2	1	3	1	2	2	17	1785
	女				1	1	1		1				3	2	1	3	5	2	1			21	1977
年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-							合計	累計
RSウイルス感染症	男	1		2																		3	469
	女									1												1	430
咽頭結膜熱	男		3	4	3	1	1	1	1													14	107
	女			5	3	1		1														10	79
A群溶連菌咽頭炎	男				3	3	3	6	8		6		2									31	370
	女				1	2	2	4	2	3	3	2			1							20	312
感染性胃腸炎	男		24	18	14	14	6	15	14	5	5	5	17		4							141	2652
	女	1	16	20	16	10	6	10	11	7	8	3	14	1	8							131	2347
水痘	男			1					1	1			1									4	44
	女	1					1															2	50
手足口病	男			5	1	1	2		1													10	105
	女				1		1	1				1										4	66
伝染性紅斑	男			1		1	3	2	1	2		2										12	90
	女		1				3	5	1	1		1	1									13	79
突発性発しん	男			2	1	1																4	76
	女		1	4	1				1													7	60
ヘルパンギーナ	男																						5
	女									1												1	3
流行性耳下腺炎	男					1							2									3	9
	女								1													1	7
年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計	累計	
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						
流行性角結膜炎	男			1											1	1						2	22
	女																1	1				3	41
年齢区分	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-					合計	累計
細菌性髄膜炎	男																						5
	女																						1
無菌性髄膜炎	男																						1
	女															1							2
マイコプラズマ肺炎	男			1	1																	2	24
	女			1	1							1										3	26
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男		1	1																		2	14
	女																						13

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

R7
 R6
 R5
 過去10年平均

